



西村よしみ

善美

議員活動報告動画を
ご覧ください

若者のくらしを応援

若者の皆さんから要望が

若者の団体、LDA京都(生きやすい京都をつくる全世代行動)のみなさんから、アンケートに基づく要望が寄せられました。有利子奨学金を受けながらバイト生活している実情やブラックバイトの実態などお聞きしました。奨学金は学生の半分が受けており、長期間の返済で、生活を切り詰めている実態が明らかになりました。

京都市への要望は、給付制奨学金だけにとどまらず、家賃補助なども出されました。

お聞きした要望の実現に取り組みます。

▲LDA京都から請願を受けとる
(右側が西村市議)

若者の投票率向上を

京都市会の市会改革推進委員会は、市立高校生との意見交換会を実施し、私も参加しました。18歳選挙が昨年の参議院選挙から実施されたことから、投票率向上に向けた企画として取り組まれました。

私もグループ討論に参加し、観光政策をテーマに会派を代表して発言しました。18歳の皆さんの選挙権行使の推進、若者たちの政治参加を進めていくことは大変重要です。

日本の未来を担うみなさんの権利と生活を守るため頑張ります。

▲高校生との意見交換会
(市会本会議場。手前が西村市議)

市民のくらしをささえて

「債権管理条例」はやめよ

京都市はこれまで強権的な債権回収を行ってきました。例えば、子どもの教育のために加入している学資保険への滞納差押えは毎年強行され、学ぶ権利を奪い取っています。支払計画を約束して払い続けているにも関わらず、差押えがされています。国保料の債権差押えは10年間で4倍以上に。これらは「負担の公平性」の名の下に行われてきました。条例の制定で債権徴収をさらに強化すれば、市民の生活をいっそう脅かすことが懸念されます。終了本会議で反対討論に立ちました。



違法「民泊」対策の強化を

京都市内で法の手続きもない違法「民泊」が問題になっています。静かな住宅街の民家が突然宿泊施設となり、深夜・昼間にかかわらず外国人観光客が来て、「騒ぎでパトカーが来た」「建物を叩く音がする」など、苦情が多くあがっています。防犯・防火の問題と共に、住民の平穏が脅かされています。そのため、対策強化へ取り組んでいます。

京都市へ民泊対策の申し入れ▶
(左から2人目が西村市議)

地域の要望にとりくむ

梅津段町交差点の改修へ



梅津段町交差点が拡幅される計画です。計画では、北西角を少し広げて南北の車線をスムーズにします。

危険な交差点が改良されます。(写真は梅津段町の南側から撮影)

松尾橋の改修へ



松尾橋の耐震化と拡幅の工事が始まっています。

住民から「道路幅を広げてほしい」「欄干を高くしてほしい」との要望を聞き、市へ要望してきました。(写真は松尾橋東詰から撮影)